

## 令和元年度 F D 実施報告書

学部・学科	キャリア開発学科
<p><b>FD 取り組みへの理念・目標</b></p> <p>【理念】 キャリア開発学科の 3 ポリシーおよび第 7 次中期総合計画に基づき、教育目標に掲げる人材を育成するための学修支援と、それを可能にするための教員の教育と研究の質的向上を目指して FD に組織的に取り組む。</p> <p>【目標】 上記理念に基づき、学内（FD 委員会、FD 推進委員会、FD 推進センター、他学部・他学科、事務局）および学外（企業、高等学校、大学など）との有機的な関連・連携を深めることにより FD の一層の推進・強化を図り、「教育課程・教育目標・目標内容の検証」「教育方法の改善・学修成果の可視化」「公開授業」などに学科をあげて取り組む。</p>	
回数、期間、実施日等	実施事項・内容、実施組織、評価項目等
	<p><b>1. 教育ワークショップの実施</b></p> <p>本ワークショップは、月例として学科会議前に教育ワークショップを実施し、その結果を学科の FD の推進、入試の志願者対策、就職対策などに役立てるものである。</p> <p>第 1 回 4 月 4 日 テーマ「入試結果の報告とその他」（入試広報部入試課 塚田昭人 課長） 平成 31 年度入試を振り返り、総括を行った。また、今後の対策、課題について意見交換を行った。</p> <p>第 2 回 5 月 9 日 テーマ「2018 年度内定者最終報告及び今年度計画について」 (学生部就職支援課 岡本健人 係長、横倉紗希 課員) 過去 3 年間の卒業生の就職活動状況、本年度の就職支援内容、企業情報などについて、意見交換を行った。また、学内システムが UNIPA になったことに伴い、就職支援関係の機能等について説明を受けた。</p> <p>第 3 回 6 月 6 日 テーマ「教育支援にかかわる学生対応の現状と課題」（学生相談室 鬼塚淳子 課員） 本学科所属の学生で学生相談室を利用しており、特に支援が必要と思われる 3 名の学生について、匿名ではあったが報告を受けた。その後、支援の在り方について意見交換を行った。</p> <p>第 4 回 7 月 4 日 テーマ「学生募集について」（入試広報部 塚田昭人 部長） 本学科の志願者推移状況や、学生募集についての説明があり、意見交換を行った。</p> <p>第 5 回 8 月 1 日 テーマ「就職状況について」（連携推進部 横倉紗希 課員） 前学期までの 2 年生の就職活動状況について、報告があった。また、夏期休暇中の就職支援内容や、後学期へ向けての注意点等が示された。</p> <p>第 6 回 9 月 12 日 テーマ「科研費獲得へ向けての申請書作成について」 (科研アドバイザー 食物栄養学科 森脇千夏 准教授) 森脇先生の科研費に採択された申請書と採択されなかった申請書を基に、どのよ</p>

	うに申請書を書くことが必要か、多くのアドバイスをいただいた。併せて、意見交換を行った。
第7回 10月3日	<p>テーマ「国際交流と留学支援について」(学生部 坂口咲子 課長)</p> <p>本学の国際交流と留学支援の取り組み状況などについて説明があり、意見交換を行った。</p>
第8回 12月5日	<p>テーマ「就職状況について」(連携推進部 岡本健人 係長、横倉紗希 課員)</p> <p>11月までの就職内定状況について、報告があった。また、引き続いての支援内容や注意点等が示された。</p>
第9回 1月9日	<p>テーマ「福岡県が実施しているフィールドワークの現状について」</p> <p>(学外 GS:糸島市産業振興部農業振興課農業振興係 徳永真一 様 福岡県企画・地域振興部広域地域振興課 廣畑 平 様 連携推進部 西川航太郎 課員)</p> <p>糸島の耕作放棄地再生プロジェクトや流通科学部の浅岡ゼミ生によるプロジェクトをはじめ、福岡県における本学の地域と連携した教育活動について報告があった。また、意見交換を行った。</p>
第10回 2月13日	<p>テーマ「卒業生の転職・再就職、学び直しについて」</p> <p>(学外 GS : 西日本エリートスタッフ 瀬田智子 氏)</p> <p>転職や再就職の際に求められる能力などや、実際の転職の方法等について説明を受け、意見交換を行った。</p>
第11回 3月5日	<p>テーマ「2020年度教育ワークショップ内容」(本学科教育ワークショップ委員)</p> <p>来年度のワークショップ計画案が示された。</p> <p>なお、11月には福岡観光コンベンションビューローからゲストスピーカーを招いて、「キャリア開発学科のフィールドワーク(『インターンシップⅡ』『おもてなし研修』)を振り返って」というテーマで開催を予定していたが、福岡観光コンベンションビューローの都合により中止となった。</p>
	<p><b>2. 学科 FD 研修会の実施</b></p> <p>全学的な「学生による授業アンケート」結果を学科内でオープンにし、授業改善のための研修会を実施した。学科主任、FD推進委員が運営にあたった。本研修会では、学生による授業アンケートの結果はどうだったのか、授業改善をどのように実施したのか、その結果、学生の評価はどのように変化したのか、また今後の授業改善計画について、各教員から担当の授業科目毎に報告してもらった。併せて、今後の授業改善のための数値目標を述べてもらい、それらについて意見交換を行った。</p>
第1回 5月13日	<p>テーマ「平成30年度後学期の結果による授業改善の結果と今後の計画」</p>
第2回 3月5日	<p>テーマ「令和元年度前学期の結果による授業改善の結果と今後の計画」</p>

なお、本年度後学期より開催時期を変更し、該当授業開始直前の3月に開催することで、授業改善の意識付けを狙った。また、本年度より実施している中間授業アンケートの効果検証には着手したばかりである。

### 3. プロジェクト研究会の実施

4月2日、5月13日、9月より  
学科会議終了  
後

2019年度の本学科のプロジェクト研究課題は、「地域と連携した教育プログラムの開発－インターンシップとフィールドワーク」である。本研究は、地域（企業、行政、NPO法人、ボランティア団体等）と連携して、本学科の高次のアクティブラーニングとしてふさわしい「インターンシップ」（「インターンシップⅡ」として単位付与）と「フィールドワーク」（「フィールドワークⅠ・Ⅱ」として単位付与）の教育プログラムを開発することを目的にしている。

成果としては、インターンシップについては3つ、フィールドワークについては1つのプログラムを開発することができた。

本学科のFDの推進とも密接に関連していることから、プロジェクト研究会を月例開催して、情報共有や進捗チェックを行い、研究に遅滞がないようにする予定であったが、時間割等の関係で前学期は開催できない月が多かった。しかし、後学期は順調に開催できたことから、研究は概ね順調に進展している。

### 4. 教育課程・教育目標・教育内容の検証

3つのポリシーを踏まえて、学科主任、FD推進委員、教務委員が中心となり教育カリキュラムの検証に着手した。また、編入対策に力を入れることになったことから、編入も見据えたカリキュラムを現在検討中であり、令和3年度より新カリキュラムに移行する予定で作業を進めている。

### 5. 教育方法の改善・学修成果の可視化に向けた取組みの実施

5-1 3つのポリシーに基づき、学位プログラムレベル（学科）、科目レベルで2案を作成し、6月の学科会議に諮った。その後、FD推進センターと教務部で検討することとなったため、学科独自での検討は行っていないが、来年度には機関レベルも含めたアセスメント・ポリシーが策定できるよう協力していきたい。

5-2 専任教員が担当する科目については、科目ルーブリック及びレポートや発表の課題ルーブリックの見直しを行う一方、積極的にUNIPAにルーブリックをアップし、学生への周知を図った。また、ルーブリックの活用を促進するために、課題ルーブリックに基づいたレポート等の評価をスムーズに行えるようExcelによるマクロシートの改良と新規開発を進めた。これらのシートは、特に大学基礎演習、ビジネス研究基礎、キャリア形成演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ及びインターンシップで活用した。

5-3 出欠管理、資料配布、双方向授業（クリッカーの活用）の実現にN-noteとUNIPAを積極的に利用した。また、中間授業アンケートの実施あたりUNIPAのアンケート機能を活用した。また、学生の成績や就職活動状況の確認などにもUNIPAを活用した。N-noteは、教員はもちろんのこと、PowerPointを使った発表等で、

<p>6月3日 ～6月21日 11月5日 ～11月22日</p> <p>中止</p>	<p>学生も積極的に活用した。</p> <p><b>6. 公開授業を通じた授業改善の推進</b></p> <p>6-1 前学期の参観人数は11名（昨年度7名）、被参観人数は6名（昨年度5名）、後学期に参観人数は12名（昨年度4名）、被参観人数は9名（昨年度3名）であり、前学期・後学期ともに参観人数も被参観人数も昨年度より多くなった。また、今後の全学的な公開授業の在り方については、学科の教育ワークショップではなく、学科会議において意見交換を行った。</p> <p>6-2 学生の保護者等を対象とする本学科独自の通年授業公開は、残念ながら参観者はいなかった。</p> <p><b>7. 福岡工業大学短期大学部と連携した合同FD研修会の実施</b></p> <p>3月2日（月）14時より「短期大学における内部質保証の充実に向けて」というテーマで本学2507教室において実施の予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響に鑑みて中止となった。可能であれば、来年度の9月までを目途に同テーマで実施したいと考えている。</p>
--	---

**「教育システム改革2014 (FD2014)」の進捗状況**

項目	主な実施内容	進捗状況	補足説明
授業科目の組織的な管理	ルーブリックの導入	<input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 実施済	学科専任教員担当分の科目については、ゼミナールを除き導入済みである。令和元年度は、非常勤の担当科目への導入を予定していたが、実施することができなかった。
教員の教育力に対する評価の導入	授業アンケート結果の組織的な活用	<input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 実施済	本学科FD研修会にて、データを学科内で公開し、授業改善目標の数値化を図るとともに、意見交換を行った。また、専任教員担当科目で中間の授業アンケートも実施しており、その効果についてはこれから検証を行っていく予定である。
教育方法の改善	アクティブラーニング（特にPBL）の推進 PBL：課題解決型授業	<input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 実施済	本年度と来年度はプロジェクト研究の研究課題にも関連することから、地域貢献活動等に積極的に取り組んでいく予定である。

「FD2014」はサイボウズのファイル管理－「FD推進センター」にあります